

2015年の交通死亡事故について ～自動二輪車の事故は過去5年間で最多～

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路において、2015年1月1日から12月31日までに52件の交通死亡事故が発生し、55名の尊い命が失われ、2014年に比べ9件、7名の増加となりました。とりわけ、自動二輪車が関係する事故が非常に増加しています。さらに、全体の約4割を単独事故が占めたこと、休日に事故が多く発生したことが主な特徴となっています。

ライダーやドライバーの皆さまは、十分な車間距離をとって、安全な速度でご利用いただくとともに、全席シートベルトを着用し、走行していただきますようお願いいたします。

1. 【交通死亡事故の発生状況】

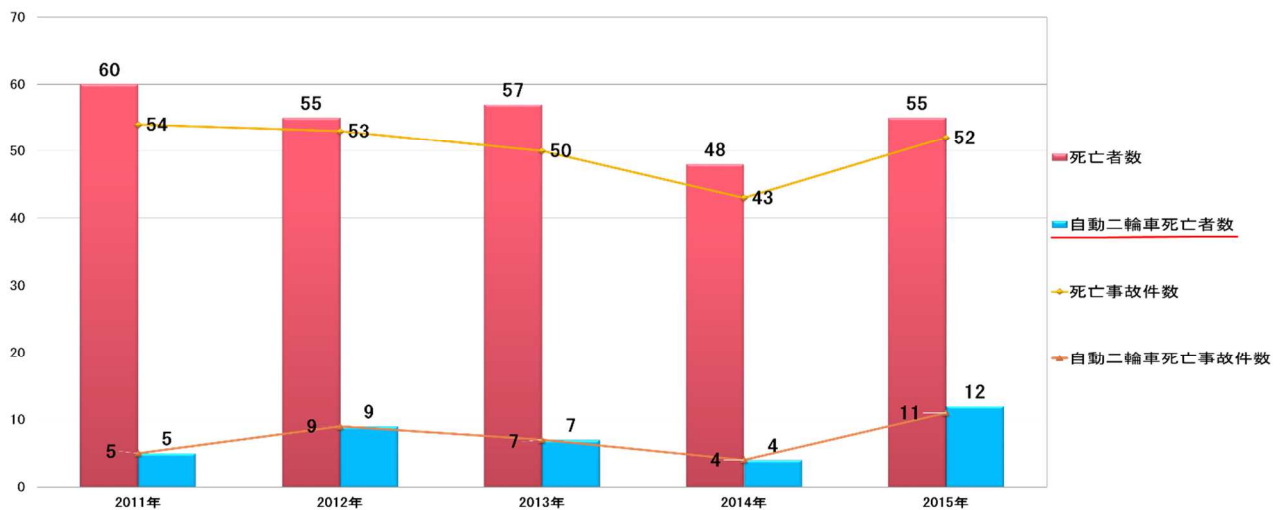


図1 交通死亡事故の経年推移 (中日本高速道路調べ・各年1月1日から12月31日)

2. 【2015年 交通死亡事故の特徴・傾向】

■事故形態別

自動二輪車の関係する事故をはじめとする単独事故が多く発生。

■曜日別

土・日・祝日に事故が多く発生。

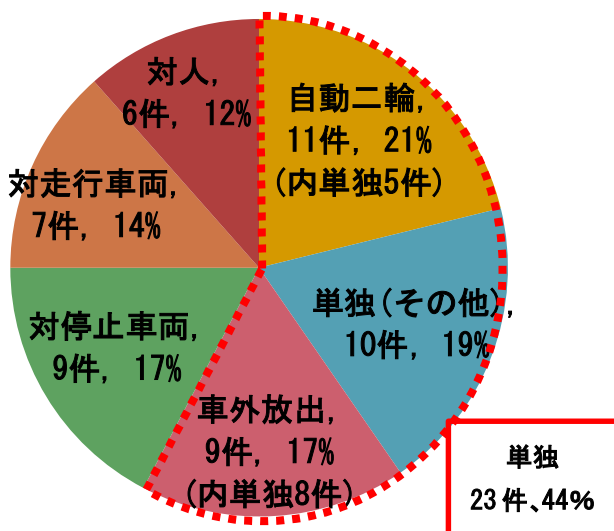


図2 事故形態別死亡事故件数

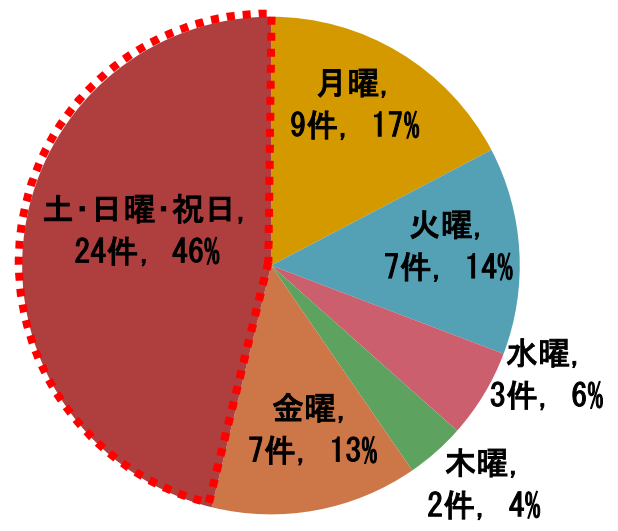


図3 曜日別別死亡事故件数